



今年度も感染症拡大防止に配慮しながら、子どもたちと生活発表会で何ができるかを探りながら、このひと月活動してきました。いつも大切にしている選びから始め、取り組んでいることへの心配や不安が大丈夫になるように活動を繰り返し、よくわかって面白くなった、もっと良くしていこうと活動を展開していきました。

- | | |
|-----|---|
| 劇 | A組は、劇を選び、役柄を選びました。B・C・D組は、役柄を選びました。 |
| | D組 先生の声を良く聞いて表現していきます。 |
| | C組 音楽劇のCDに合わせ、先生のまねっこをしながら覚えた動きを披露します。 |
| | B組 音楽劇のCDに合わせ、自分たちで考えた動きで劇を作っていました。 |
| | A組 台詞を言いながら演じる場所を、マイクの前でセリフを言う人と舞台上の上でその台詞に合わせて演じる人に分け、息を合わせながら劇を進めていくことにチャレンジしました。 |
| | 全員が入れ替わりながらどちらの役割もします。 |
| 合奏 | D組 今日選んだマラカスを手にして演奏 |
| | C組 3つの楽器 |
| | B組 5つの楽器 |
| | A組 9つの楽器 1曲ずつ違う楽器で演奏 |
| 手遊び | 歌声に合わせて手遊びや手話をします。 |

～D組～

1. 合奏・手遊び「ことりのうた」「ジングルベル」「パンダうさぎコアラ」「あたまかたひざポン」

音楽の活動で、様々な曲に触れながらマラカスを奏でたり、ピアノの音(リズム)を聞いて体を動かしたりしてきました。マラカスを楽しく鳴らす姿、体全体を使って手遊びする姿をお楽しみください。

2. 表現あそび「はらぺこあおむし」

はらぺこあおむしさんが食べ物を探し、見つけ、沢山食べてちょうちょになるころまでをみんなでご表現します。一人一人が食べたい果物を選びました。

～C組～

1. 合奏「どんぐりころころ」「うさぎとかめ」

すずとタンバリンとカスターネットのリズム打ちを楽しんで活動してきた子どもたち、音を出すことより、音を止める方が難しいときもあります。選んだ楽器を手にして、よく指揮を見て合奏をします。

2. 手遊び「ピカチュウ」「へんしんです」

「ピカチュウ」はかわいいピカチュウがやってきます。どこからやってくるでしょうか。「へんしん」は指を使って、へんしんしていきます。何にへんしんするか、楽しみにごらんください。

3. 劇「パンパンパンがし」

ねずみにとわとりが焼いたパンがしがころころ逃げ出します。ころころと逃げいき、最後はきつねさんに会ってパンがしは・・・
役を決めるまでに何度もごっこ遊びを繰り返して楽しみました。

～B組～

1. 手遊び「さあみんな」「ピクニック」

「さあみんな」は、みんなが集まって肩をたたいたり手をつないだりします。「ピクニック」は、右手と左手で違う指を動かすので、よく考えながら楽しく表現します。

2. 合奏「かっこう」「せんろはつづくよどこまでも」

B組になり、楽器の数が増えました。自分の楽器のリズムを覚えて、練習をしてきました。ほかの楽器と音を合わせる楽しさを感じながらも、他の楽器の音につられ少し難しさも感じている子どもたちです。指揮者をよく見て、ピアノの音をよく聞いて、合奏をします。

3. 劇(オペレッタ)「おむすびころりん」

おじいさんのおむすびがコロコロ転がり、ネズミの穴に。ネズミたちはお礼につづらと踊りを披露しました。その様子を見た悪いおじいさんもおむすびを落として……。子どもたちが自分で役を決めて、「どんな踊りにする?ここは手を伸ばした方がいいよ!」など自分たちで話し合いながら楽しく振り付けを決めていきました。

～A組～

1. 合奏「マクドナルドじいさん 飼っている」「こいぬのマーチ」「聖者の行進」

A組全員が、木琴を演奏できるように3曲合奏をします。どの曲で木琴をしたいかを選んでいきます。各曲、歌詞ではなく階名を覚えて、練習をしました。ピアノの音をよく聞きながら、みんなの気持ちと音を合わせながら演奏します。

2. 劇「しあわせのバケツ」

皆が考える「しあわせ」って何だろう。『しあわせを感じているか』が、わかるバケツをみんな持っているんだって。どんなことをしたらしあわせな気持ちになるのかを、子どもたちと考えて劇を作っていました。今日は、しあわせだったのかなと、練習後に考える子どもの姿もありました。

劇「ももたろう」

子どもたちもよく知っている「ももたろう」。困っている村人のために、ももたろうが勇気だして鬼が島に向かいます。

この時の、村人や鬼はどんな気持ちだろう…動きを考えたり、鬼が島や宝を絵で描いてアイデアを出し合ったり、「台本も考えたよ。」など楽しみながら、劇の練習を進めてきました。お話の最後は、文教オリジナルバージョンになっています。

劇「アリとキリギリス」

これから先のことも考えて、今何をすべきなのか考えて真面目に働くアリと、今楽しければそれでいいとのんびりしているキリギリスのお話です。演じる人、話す人の両方をする事で、相手のことを考えて、どのくらいの速さで話したらいいのか、どのような動きをしたら話すが話しやすいのかを考えながら劇を進めていきます。

3. 手話「世界中の子どもたちが」「切手のないおくりもの」

声の代わりに手で思いや考えや気持ちを伝えることができる手話を紹介しました。歌詞を知り、手話でそれをどう伝えるのかを体験し、回を重ねるごとに、気持ちも込めていく姿がありました。

